

第5回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応

○まちづくりの方向性・将来像・コンセプト

No	意見	発言者	対応
1	資料3の構成について、P7・8・9あたりの流れが悪く、うまく繋がっていない印象である。	岸井会長	<p>■資料2 P.9「まちづくりの方向性」 西新宿地区の歴史を踏まえたまちづくりの方向性を追加した。</p> <p>■資料2 P.9, 10「まちづくりの将来像・コンセプト」 将来像を「東京の新しいライフスタイルを創造・実現するまち」とし、コンセプトを「Renovate! WEST SHINJUKU～道路・公園・街区の一体的な再編～」とした。西新宿がかわることにより、東京の新たなライフスタイルを実現することとした。</p> <p>■資料2 P11,12「コンセプトに基づく基本的理念」 「Walkable」「Everyone」「Sustainable」「Try」を再整備方針の基本的理念とした。</p>
2	方針については、西新宿の固有性として、都庁があることの意義や1960～1970年代に超高層ビル群を作ってきたことなどを踏まえた記載とできるとよい。		
3	コンセプトにて「UPGRADE City」としているが、単なるアップグレードではない印象である。次の時代の西新宿をどのように描くべきなのか再考してほしい。また再編にあたってはラボ・テラスを作るだけでなく、これからの東京・日本の在り方を考えた上で、西新宿は何を背負うべき場所とすべきなのか、検討が必要である。		
4	資料3P3～6にて「まちの成り立ち」が整理された上で、更新の時期に入った中、どのように再編していくべきなのかの流れの中で考える必要がある。DXなどの流れを踏まえ、参加型のまちづくりを目指すことなども方針の中で定められると良い。		
5	まちの特性・課題に対する再整備方針での対応を明確にし、どのように生かしどのように改善していくのか明示ができるとよい。	伊藤副会長	<p>■資料2 P.8 まちの特性・課題に対する再整備方針での対応がわかるよう、「これからのまちづくりへの視点」を追加した。</p>

○公開空地等

No	意見	発言者	対応
6	民地内の整備については、単にラボやテラスを組み込むだけでは弱いかもしれない。検討の深度化にあたっては官民の連携が重要となってくるのではないか。	岸井会長	<p>■資料2 P.25「方針5-①」 「道路や公開空地などオープンスペースの一体的な利活用を検討し、持続可能な管理運営の仕組みを官民連携により実現します。」とした。</p>

○道路再編・モビリティ

No	意見	発言者	対応
7	ウォークアブルなまちを目指すことには賛成である。一方で歩行者空間化するための根拠となる技術的な検証を方針内で示すことが必要なのではないか。	吉村委員	再整備方針の具体化にあたっては、根拠となる資料を示しながら検討を進めていく。
8	「西新宿グランドモール」について、民地との連携が表現できるとよい。	岸井会長	■資料2 P17, 18「方針2-①」 「西新宿グランドモールには、街区側に「新生活創造ラボ」、「コミュニケーションラボ」、「西新宿テラス」等を配置することで道路空間と一体的な賑わい空間の形成を図ります。」とした。 また、西新宿グランドモールの将来イメージを追加した。
9	階段は楽しく座りたくなる空間とする必要があり、階段に座るためには様々な工夫が必要となる。本当に人が憩う空間はどういう空間なのか考えて頂きたい。	池邊委員	■資料2 P20「方針2-④」 「まちに所縁のある在来種や毎年花が咲く宿根草等を花壇や階段緑化に配置するなど、持続可能で美しい緑化空間を創出します。」とした。 ■資料2 P15, P18, P29, 30 P15に周辺街路と都民広場が一体となった「新しい西新宿」を象徴する一体的な空間のイメージ、P18に西新宿グランドモールの将来イメージ、P29,30に西新宿全体の将来イメージを追加した。
10	交通計画については、西新宿全体としての交通のあり方が記載できるとよい。その上では西新宿内で完結するのではなく駅東口に繋がるものとよい。また自動運転の役割についても明記できると良い。	新宿副都心環境改善委員会 技術担当理事	
11	道路を歩行者中心の空間にするにあたっては、既存の交通との住み分けが必要。	警視庁 都市交通管理室 長	■資料2 P31「スケジュール」 来年度以降、「道路空間の再編計画と次世代モビリティの導入に関する検討」の中で、各街路の道路機能の区分や西新宿地区全体の交通計画、自動運転の役割等について検討していく。
12	各街路が周辺の道路とどのように接続するのか明示する必要がある。	警視庁 都市交通管理室 長	
13	次世代モビリティの導入について記載があるが、実際の導入にあたっては料金設定・利用勝手に留意し、誰もが使いやすいものとしてほしい。	国道交通省 街路事業調査官	■資料2 P31「スケジュール」 来年度以降、「次世代モビリティの導入に関する計画」の中で、料金設定や利用勝手等も含め次世代モビリティの導入に向けて検討していく。
14	新宿中央公園への繋がり、また、駅方面への繋がりやヨドバシ街区あたりで途絶えており、全体のつながりが分かりにくい。	国道交通省 都市計画調査室 長	■資料2 P27,28「再編イメージ」 3号街路などの回遊軸は、「超高層ビル地区とその周辺のまちを繋ぎ、回遊性を高める歩行者空間」としている。3号街路と新宿駅の繋がりを表現するため、「西新宿一丁目商店街地区」を追加した。

○エリアマネジメント・維持管理

No	意見	発言者	対応
15	「官民の連携」について記載しているが、「学」を含めていないのはなぜか。	吉村委員	■資料2 P11「コンセプトに基づく基本理念」 P25「方針5-①」 P31「再編に向けた役割とスケジュール」 産学官民が連携して取組む部分については、「産学官民」とした。
16	新宿は街区毎に地権者が異なるため、エリアマネジメント団体など介した意識合わせが重要である。	池邊委員	■資料2 P31「スケジュール」 来年度以降、「エリアマネジメントのあり方に関する検討」の中で、ハード・ソフトの整備内容、運営スキームを検討していく。
17	本方針にて大きな方針が定められた後に官民の各事業におけるハード・ソフトの整備内容や運営スキームの深度化が検討できればと考えている。	新宿副都心環境改善委員会 技術担当理事	

○その他

No	意見	発言者	対応
18	魅力的なパースが用意できるとよい。	伊藤副会長 小嶋委員 吉村委員	■資料2 P15, P18, P29, 30 P15に周辺街路と都民広場が一体となった「新しい西新宿」を象徴する一体的な空間のイメージ、P18に西新宿グランドモールの将来イメージ、P29,30に西新宿全体の将来イメージを追加した。
19	再整備方針の策定までに必須ということではないが、動画なども用意できるとよいのではないか。国土交通省ではプラトーなども公開しているが、そのような内容も参考にプロモーション用の動画が作成できると、都民に魅力が伝わるのではないか。	吉村委員	■資料2 P31「スケジュール」 来年度以降、「エリアマネジメントのあり方に関する検討」の中で、西新宿地区のプロモーションについて、関係者と調整しながら検討していく。
20	民間街区と道路との連携については、今時点で想定できない部分も多分にあると考えるため、そのような変化に対応するための意見交換の場・検討体制が必要である。	新宿副都心環境改善委員会 技術担当理事	■資料2 P31「スケジュール」 来年度以降、「エリアマネジメントのあり方に関する検討」の中で、産学官民連携について関係者と調整しながら検討していく。
21	資料3 (P27) のスケジュールでは「個別事業の具体化」としか書かれていないが、官民の連携を促進するための仕組みづくりが必要なのではないか。	岸井会長	
22	都市計画も従来のトップダウン型のみではなく、DXなどが入り柔軟に動いていけると良い。	吉村委員	再整備方針の具体化にあたっては、DXや日々進化する技術などを積極的に取り入れるとともに、多様な主体のニーズを捉えながら検討していく。